

平成28年5月2日

部 課 名	経済産業部 農林課	電 話	22-8356
課 長	中村 光男	担 当 者	弥益 孝二

1. 件 名

新規就農者パッケージ支援制度における新規就農希望者の募集について

2. 募集の概要

対 象 者：周南市内で独立・自営で就農しようとする40歳未満の者

募集人数：3人程度

募集期間：随時受付

3. 内 容

農業を始めたい若者には、栽培技術の習得・農地の確保・資金など、多くの課題があり、なかなか就農できない状況にあります。

これまでの就農支援策は、就農希望者からの相談があった場合に、それぞれの状況に応じて支援を行ってきましたが、今年度から、「技術研修」、「農地確保」、「機械・施設整備」、「住宅確保」のそれぞれの支援を一つのパッケージとして用意し、就農希望者を募集することとしました。

<パッケージ支援の内容>

技術研修

農業大学校や先進農家で約2年間研修します。

農地の確保

農地中間管理機構を通じて、10年以上の貸借可能な農地を斡旋します。

機械施設の整備

市が整備した、ビニールハウスや農業用機械を、最長10年間レンタルします。

住居の確保

市の遊休施設や一般の遊休家屋を中心に安価な借家を斡旋します。

周南市は“本気で農業を始めたい方”を応援します！

農業を始めるには、栽培技術の習得・農地の確保・資金など多くの課題があります。
周南市では課題解決のため“パッケージ”で支援します。

●技術研修

農業大学校や先進農家で約2年間研修します。

●農地の確保

農地中間管理機構を通じて、10年以上の貸借可能な農地を斡旋します。

●機械・施設の整備

市が整備した、ビニールハウスや農業用機械を、最長10年間レンタルします。

●住居の確保

市の遊休施設や一般の遊休家屋を中心に安価な借家を斡旋します。（家賃の目安3万円前後）

就農までの“Hop” “Step” “Jump”

Hop

技術の習得

栽培技術や経営知識等を身につける。

- 国による青年就農給付金（準備型）を活用し、山口県立農業大学校に開設されている「やまぐち就農支援塾」で、農業経営に必要な専門技術や知識、流通・販売などを約1年間学びます。
- 2年目は、県内の先進農家で現地研修により技術を磨きます。
 - ※研修費不要（研修に係る交通費、傷害保険代等は各自で負担）
 - ※青年就農給付金（準備型）
研修期間中（最長2年間）年間150万円が国より給付されます。



Step

就農準備

- 青年等就農計画を作成し、市が認定することで認定就農者になることができます。認定就農者になることで青年就農給付金（経営開始型）や無利子の資金、補助事業などの支援が受けられます。
 - ※青年就農給付金（経営開始型）
就農開始から（最長5年間）年間最高150万円が国より給付されます。（所得により変動）

Jump

就農

- いよいよ農業経営の開始です。就農後も栽培技術や規模拡大などの支援を継続して行います。